

学習状況診断票(国語) 小学校 第5学年

5年 組 番 名前

領域	問題番号			出題のねらい	評価の観点				
	大問	小問	通番		聞く能力	書く能力	読む能力	言語事項	
話すこと・聞くこと	一	一	1	話し手が伝えようとしている内容の中心を、正しく聞くことができる。					
		二	2	分かりやすく伝えるために、話し手がどのような工夫をしているかを正しく聞くことができる。					
		三	3	話し手がどのような理由で意見を述べているかを正しく聞くことができる。					
		四	4	話し合いの進め方について正しく聞くことができる。					
		五	5	自分の考えを分かりやすく伝えるために、立場や理由をはっきりさせ、決められた字数で書くことができる。					
書くこと	二		6	読み手に内容がよく伝わるように、必要な事柄を選ぶことができる。					
読むこと	三	一	7	主人公の気持ちを想像しながら読むことができる。					
		二	8	主人公の気持ちの変化に注意しながら読むことができる。					
		九	9						
		三	10	優れた表現について、その効果を考えながら読むことができる。					
書くこと	四		11	資料を読んで考えたことについて、理由をはっきりさせ、決められた字数で書くことができる。					
言語事項	五	(1)	12	5年生までに習った漢字を正しく読むことができる。					
		(2)	13						
		(3)	14						
		(4)	15						
		(5)	16						
	六	(1)	17	4年生までに習った漢字を正しく書くことができる。					
		(2)	18						
		(3)	19						
		(4)	20						
		(5)	21						
	七	(1)	22	表現したり理解したりするために必要な語句について、辞書を利用して調べることができる。					
		(2)	23						
						/ 4	/ 3	/ 4	/ 12

今後の学習に向けて *自分がかんばりたいところに○を付けましょう。

聞く能力	<ul style="list-style-type: none"> 「どのような考えが、どのような理由で話されているかを考えながら聞く」「自分の考えと、どこが同じで、どこが違うかに注意して聞く」など、国語の授業で学習した聞き方について、復習しましょう。 国語の授業で学習した大切な聞き方を、授業中の先生や友だちの話の聞くときや、毎日の生活にも生かしましょう。
書く能力	<ul style="list-style-type: none"> 最初に、どのような考えを書くのかをはっきりさせましょう。その上で、自分の考えを分かりやすく伝えるために、自分の意見とその理由を別々の文で書くようにしましょう。 一度書いた文章を、読む人の気持ちになって読み返し、伝わりにくいところを書き直すことも大切です。
読む能力	<ul style="list-style-type: none"> 物語を読むときには、まず大まかな話の流れ(あらすじ)をつかみましょう。そして、場面の様子や気持ちを表す言葉に注意しながら、登場人物がどのような気持ちで話したり行動したりしているのかを想像しながら読み進めていくことが大切です。 国語の読みの授業で、自分の考えを進んで発表したり、友だちの考えと比べて聞いたりしながら、自分の考えを深めるようにしましょう。
言語事項	<ul style="list-style-type: none"> 漢字については、国語の時間だけでなく、他の教科の授業や毎日の生活の中で、読み方が分からない場合は確かめたり、学習した漢字を使って書いたりするように心がけることが大切です。 意味の分からない言葉は、国語辞典を使って調べる習慣をつけましょう。